学校番号	323

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自らの家庭生活に関心をもち、家庭や地域の生活をよりよくするため、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な事象や課題についてワークショップや演習を通して、知識を身に付け理解を深めます。多様な考え方を学び、認め合い、自分の考えを深めましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた基礎的な技術を身に付けます。
- 学んだことを、自らの生活や自らを取り巻く社会の課題として捉え、実際に自らの生活に活かしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能の習得
【思考力、判断力、表現力等】自身や家族の家庭生活を健康で快適に営むために、問題解決できるよう考え、行動する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を養い、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて理解し、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざし実践し、評価・改善して考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	より良い社会の構築に向けて、様々な人々と協同し、自主的に地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族・地域の生活課題の解決を図るよう意欲的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人生をつくる	○生涯発達とライフステージ ○青年期の課題 ○ホームプロジェクト オリエンテーション ○人生100年時代を生きる ＊ライフプラン	a: 社会の現状や課題を理解し、家庭生活や地域の生活をよりよくするための知識を身に付けている。 b: 自己の生活課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 自ら生活課題や生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート	ワークシート 発表
	超高齢社会を共に生きる	○高齢者の心身の特徴 ＊高齢者疑似体験 ○これからの高齢社会 ○共に生き、共に支える	a: 高齢期の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識し、高齢者の心身の特徴に合わせて、誰もが暮らしやすい街を工夫する知識・技術を身に付けている。 b: 高齢期の生活について、家族や地域を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢期の生活について、家族や地域を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。	定期考査	レポート	ワークシート 発表
	衣生活をつくる	○被服の役割 ○被服材料・その性能 ＊被服実習 ○被服を管理する ○これからの衣生活	a: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付け、健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、裁縫技術を身に付けている。 b: 被服管理と健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 被服管理と健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 被服実習	レポート	ワークシート 発表

2	ホームプロジェクト	○ホームプロジェクト ＊自由テーマ、発表	a: ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身に付け、計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 b: 生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c: ホームプロジェクトについて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート	発表
	食生活をつくる	○食生活について考える ○食事と栄養・食品 ○食生活の安全と衛生 ○日本の食問題 ○調理の基礎 ＊調理実習	a: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付け、生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な調理、食品衛生等の技術を身に付けている。 b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 調理実習	レポート	ワークシート 発表
	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 「子どもの安全」 「子どもの食事」	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付け、子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 b: 子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート	ワークシート 発表

3	住生活をつくる	○安全で快適な住生活 ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活 ＊将来のライフスタイルを見通した住居や部屋の選択	a: 住居の機能、住環境などについて理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。また、安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b: 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート	ワークシート 発表
	経済生活を営む	○購入と契約 ＊契約と契約トラブル ○消費者の権利と責任 ○家計資産マネジメント ○持続可能な生活	a: 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付け、消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b: 生涯を見通した経済の計画・管理について、考え、工夫している。 c: 自らの消費生活や、現代に特徴的な消費の在り方に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート	ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度